

教会の皆様、おはようございます！

私の名前は ASEL です。キルギスから来ました。キルギス語で蜂蜜という意味です。私の国は、旧ソ連下でしたので、私はロシアとキルギス語の両方を話します。

最初に私の両親の事についてお話します。父は、親族の間で最も裕福でした。父は 11 人兄弟の長男で、父はその兄弟達を父親のように育て上げました。また、おじいさんはあまり父親としての愛を父にみせず、おじいさんはおばあさんをよくたたいていました。そして、悲しいことに、父が母と結婚した時も同じような道をたどってしまいました。それは家庭内暴力や、浮気です。母は子供 3 人を生んだ後、非常に重い病気にかかってしまいました。もしかしたら、その病気のせいで死んでしまっていたかもしれません。その時、私は 6 歳で、妹が 3 歳、弟が生まれたばかりでした。母は母乳も出なくなり、ご飯も食べられなくなりました。なので、病院にいたり、モスクや預言者のところに行ったりしました。みんなが違った意見を言いました。なので、母は、自分はもう助からないかもしれないと思いました。

私たちには隣人がいました。彼らはとても小さな家でした。そこに母親と 5 人の子供がいました。何故かはわかりませんが、彼らはとても喜びにあふれ、幸せそうでした。時々、母は彼らのところに行き、話をしました。母は彼女の前に座って泣き、私は死んでしまうかもしれないし、子供達もいるのにどうしたらいいのかわからないといいました。そして、彼女は母に、そこにはあなたを癒す人がいる。彼はあなたの罪のため、十字架で死にました。あなたはキリストを神様として信じますか？と聞かれ、母は、はい。信じますと答えました。その後、彼女の病気と痛みは消えました。母はとても幸せで、自分に起きた奇跡を信じる事ができませんでした。母はこのことを父に話したのですが、父は信じませんでした。また、父は母をサポートするわけでもなく、暴力はやみませんでした。もちろん、それから彼らの所にはいかせず、キリストを信じることも許しませんでした。

2 年が過ぎ、すべて忘れたころ、母がスープを作っていて別の部屋に行った時に、2 歳の弟がスープをこぼしてやけどしてしまいました。また、その手術の為に多額のお金が必要でした。なので、両親は銀行に行きお金を借りましたが、彼らは家と財産を取って行ってしまいました。そして、私たち家族は小さなアパートの一室に住み始めました。それは母の人生でも最もつらい時期の一つでした。私は母とバザーでトマトを売りました。そのとき、私はてんかんの病気を持っていて、日常生活の中で時々意識がなくなって倒れてしまうことがありました。私はあまり覚えていませんが、両親はとても苦労しました。また、医者には私の成長が他の子供に比べて遅く、もしかしたら障害があるかもしれないと言いました。

私の母がバザーで働いていたとき、ある女性がいて、彼女は他の人ととても違った雰囲気がありました。ある時、彼女は母を家に招待しました。そして、キリストが私たちを救うために死んでくださったということをシェアしてくれました。その時、母はキリストが自分を癒してくれたことを思い出しました。そして、母はキリストを信じる決心をしました。それから、私たちが教会に行くようになってから、私のキリストについて学ぶ旅が始まりました。私がキリストの寛容さを知り、キリストを受け入れたとき、キリストは私を癒し、病気もなくなりました。それは、説明するのはとても難しいですが、神様はそれを知っておられました。

しかし、一つ私がとても時間がかかったことがあります。それは父を許すことです。母は父の為に祈ることを始めました。しかし、すべて母のせいだと言い、父の暴力は止みません。そして母が妊娠したある時、私はいつものように母を守るために彼らの間に入ってぶたれました。その後、私たちが眠りについたとき、キリストが父の夢に出てきて、父を起こし、父は激しく泣き出しました。父は母を抱き、彼のした全てのことに對して許しを請いました。そして、父は私もあなたの神、キリストを信じたいと言いました。それから、私たちの家族はみんなクリスチャンになりました。神様は私の心を少しずつ癒し、私の父を許す助けとなりました。そして、いま、私たちは最も親密な関係になりました。神様のお考えとプランは私たちの予想を超えていました。神様は私たち家族の長い旅を導き、自由になるために

助けてくれました。

私が 19 歳の時、私は真に神様に従うものとなることを約束し、海外の教会で奉仕することを始めました。そして、私が 21 歳の時、イギリスにいき、地元の教会で奉仕を始めました。イギリスは私が夫と出会った国です。彼が私にとって正しい人であるかどうか理解するのは本当に大変でした。彼はクリスチャンではありませんでしたので、彼の為に祈り始めました。そして、もし私の両親がそれを知ったら、両親は彼を受け入れないことを知っていました。私はそれが怖かったので、彼に、もし私とデートしたければクリスチャンになるべきだ、と言いました。私はクリスチャンではない彼につらい時を与えました。例えば、教会に行かせ、祈ること、聖書を読むことなどです。また、私は日本人教会を見つけ、彼をそこに送り込みました。

そして、私はなぜ私たちの関係はこんなに難しいのだろうと思いました。私たちは 3 か月間イギリスで付き合い、その 3 か月間私たちは教会に行き、彼にクリスチャンになってもらおうとしました。そして、なぜかわかりませんが、つらくても、私はあきらめませんでした。それは彼の人生は神様が共にいて下さったという特別なことがあったからです。(YMCA やイギリスでのクリスチャンとの生活や関係などです)

それから、私がキルギスへ帰る時が来ました。しかし、私はまだ彼に対する多くの疑問がありました。それから 6 か月が過ぎ、彼はキルギスに来ることになり、私はとても怖くなりました、なぜなら、私達の文化では、外国人と結婚するのは一般的でないからということと、父は彼氏や夫がキルギス人でないということで、家族がどんな反応をするかということです。なので、私は神様にもし彼が本当に私の運命ならば、彼を整えてください。そして、私の家族や親せきの心を開いてください。彼を受け入れて、愛してくださいますように。と祈りました。彼はキルギスにきて、私にプロポーズしました。そして、奇跡的に私の家族は彼を受け入れました。その時、私はどれだけ彼を愛しているか、また、彼が神様から与えられたものと感じました。それから、私たちは結婚し、長崎に移り住み、私たちの新しい章が始まりました。

私たちはお互いをどう愛すればよいか、尊敬すればよいか、成長すればよいか、共に学んでいます。彼に会うまでは、人を信頼することが難しかったです。例えば私の父が完全に変わって今は本当に素晴らしくても、やはり、幼少期の体験もあり、人の残酷さも知っていたからです。なので、私は誰かを信じるのが怖かったです。私が彼を変えようと考えていたとき、実際には彼が私を変えてくれました。彼が私を柔和にし、自分の心を 100%開ける手助けをしてくれました。例えば、ひとつ、私は決して人前で泣きません。しかし、彼の前では泣くことができます。ですから、彼とともに人に尽くしていきたいですし、彼は神様からのプレゼントだと思います。また、私たちはもう一つのプレゼントである赤ちゃんを授かりました。ここで、神様がどんなに素晴らしいか、神様のご計画がすべての人の考え、意識を超えるものであることを、私たちの証を通して皆様とシェアすることができて、本当にうれしいです。

また、私は毎週月曜に光の園幼稚園で英語を教える機会をいただき、長崎バプテスト教会に感謝します。有難うございました。私は、皆様と共に時間を過ごすことができるとてもうれしいです。日本に来る前は、友達ができるか、言葉の壁はないか、教会との関係は大丈夫か、などをずっと心配していました。しかし、いま、私はこの長崎バプテスト教会がすきだと言うことができます。それは、私を教会の一員にして頂き、教会や日本の社会に貢献できると感じているからです。また、夫と共に神様の愛を日本の方々とシェアしていくことができたらと思います。

チヨ牧師や教会員の皆さま、いつも支えて下さり有難うございます。私は皆様の優しさに深く感謝しています。いまから、より教会に貢献することができるよう、多くのことを学んでいきたいと思っています。有難うございました。